## BLADO 取扱説明書

# 電波ムーブメント

1T211A-JJ02 RC Mov. / 1T215A-JJ02 RC Mov.

## はじめに

この度は本製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前に、取扱説明書をよくお 読みの上、正しくご使用ください。

文字板を自作するだけでオリジナル電波時計を作ることができます。

国内2ヶ所(福島局・九州局)の標準電波を自動的に選局・受信し、現在時刻を表示します。電波を受信できない場所では、手動設定することにより、通常のクオーツムーブメントとしてご使用いただけます。

故障した古いアナログ時計を電波時計としてリニューアルさせるなど、応用はさまざまです。

## 同梱物の確認

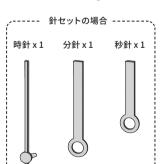
ムーブメント本体×1

ゴムパッキンx1



丸ナット x 1





ハンガー x 1

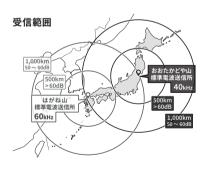


ナット回し工具 x 1



## 製品仕様

| 月差精度  | 平均月差±30秒以内(25℃で使用した場合)<br>※電波時計による時刻修正を行わない場合             |
|-------|---|
| 温度範囲  | $0 \sim +40^{\circ} C$ ※結露なきこと (外観/機能に支障無く、連続使用可能な温度範囲)   |
| 推奨電池  | 単3形アルカリ乾電池 (LR6 1.5V) 1個                                  |
| 電池寿命  | 約12ヶ月 (単3形アルカリ乾電池1個使用の場合)                                 |
| 電波受信  | 40kHz/60kHzのどちらか受信しやすい電波を受信し現在時刻に合わせる ・自動受信 (7回/1日) ・手動受信 |
| その他機能 | 電波受信ON/OFF切替機能  |



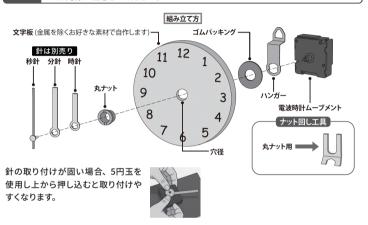
#### 対応する文字板の厚みと穴径 (ムーブメントの品番により異なります)

| 品番    | 1T211A-JJ02 RC Mov. | 1T215A-JJ02 RC Mov. |
|-------|---------------------|---------------------|
| 文字盤穴径 | 10mm                |                     |
| 文字盤厚  | 3mm以下               | 7mm以下               |

## ムーブメントの取付方法(図参照)



ムーブメントの裏にピンが刺してあります。このピンは組立が完了するまで絶対に 抜かないでください。また、時刻修正や針の交換等にも使用しますので、むやみに 抜いたり紛失しないようにしてください。ピンの先端が尖っているため、取り扱い には充分に注意してください。



#### ▼【針ズレ】を起こさないようにするために、以下の内容を十分に確認してください

- ・掛時計として使用する場合、ハンガー・ゴムパッキング・文字板の順に取り付けます。置時計として使用する場合、ハンガーを取り付ける必要はありません。
- 文字板は、12時の位置が真上にくるようにしてください。
- 付属のナット回し工具を使用して、文字盤を丸ナットで取り付けてください。
- 時針  $\rightarrow$  分針  $\rightarrow$  秒針の順番に、12時00分00秒の位置に正確に合わせ、それぞれが干渉しないよう垂直に取り付けてください。



- 針を取り付ける際には、必ず3針共に12時00分00秒になっている事を確認してください。針の取り付けが正確でない場合、標準電波を受信し起動した時に時刻に誤差が生じます。
- ・針を誤った位置に取り付けた場合は、回さずに一旦垂直に抜き、再度12時の位置に正確に取り付けしてください。



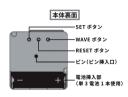
取り付けた針は、絶対に指で回さないでください。回すと故障の原因になります。 微調整を行う場合でも、必ず針を外してから取り付け直してください。

## 使用開始方法

はじめてご使用になる際(針を交換した場合も含む)は、電池挿入部分上のピンを抜いてください。ピンは針を交換する場合に使用します。無くさないように大切に保管してください。

- 単3形乾電池1個を、電池ホルダの⊕⊖の表示に合わせて入れます。
- 2. 電池を入れると秒針/分針/時針が高速回転を開始します。
- 3. 高速回転を開始したらRESETボタンを押します。 ※RESETボタンは、先の細い尖っていない棒などで押してください。針などの鋭利なものを使用するとボタンが破損しますのでご注意ください。

※すでに通常運針を始めていてもRESETボタンを押してください。



- 4. 3つの針が12時で停止します。
- 5. 初期電波受信を開始します。
- 6. 初期電波受信が終了したら、再び針が回転します。



#### 初期電波受信の流れ 最大 16 分間





電波受信 ●受信成功:時刻が現在時 結果 ●受信失敗:時刻を修正す

●受信失敗:時刻を修正せず、12時から動きだす。

### 手動受信(ボタンを押して電波を受信させる)

- 1. 通常運針時(電波受信中以外) に、WAVEボタンを3秒長押しします。
- 2.3つの針が高速回転して12時位置で停止します。
- 3. 電波受信を開始します。



#### 電波受信に成功した場合

自動的に針を現在時刻に合わせます。

#### 電波受信に失敗した場合

手動受信前の時刻に戻ります。

▼ 電波受信に失敗する場合、以下の「電波受信をしにくい環境」をご確認ください。

### 電波を受信しにくい環境

本製品は、テレビやラジオと同様に電波を受信するものです。ご使用の際はできるだけ電波を受信しやすい場所においてください。また、電波ノイズを発生させる物の近くでのご使用は避けてください。その他、次のような環境条件では正確に受信できないことがあります。

- 1. ビルの中・ビルの谷間・地下
- 2. 高圧線・テレビ塔・電車の架線の近く
- 3. テレビ・冷蔵庫・エアコン・空気清浄機・パソコン・ファクシミリ等の家電製品やOA機器の近
- 4. 工事現場・工場・軍事基地や放送や交通量の多い所など、電波障害の起きる所
- 5. 乗り物の中(自動車・電車・飛行機など)
- 6. スチール材付きの金属製家具の Lやその付近













電波障害などによって受信した際に、誤った時刻を表示する場合があります。また、使用場所や電波状況によって受信できないことがあります。このような場合は場所を変えてお使いください。



- 基地局のメンテナンスや災害時などに標準電波送信所(福島局・九州局)が電波の送信を停止した場合、電波受信機能は使用できません。
- 電波を受信できない場合は、内蔵クオーツの精度で作動します。
- この製品は日本標準電波仕様ですので、海外で電波修正機能は使用できません。

## 手動での時刻設定

#### 電波受信中は、手動による時刻設定はできません

- 1. 通常運針時(電波受信中以外)に、SETボタンを押し続けます。
- 2. 秒針が停止して時分針が動きだし、手動で時刻が設定できる状態になります。
- 3. SETボタンを押し続けて時刻を合わせます。

※初期電波受信中、あるいは手動受信中の針は、午前0時(12時位置)で停止します。合わせたい時刻が午後の場合は12時間以上移動させて現在時刻に合わせてください。

- 4. 時刻合わせが終了したら、SETボタンを離してください。
- 5. 秒針が通常運針を始め、設定が完了します。
  - ※秒針は手動で合わせられません。
- ※ 手動で時刻を設定しても、電波受信機能がONの場合、自動受信時間になると、電波を受信する状態になります。電波受信に成功した場合、自動的に針を現在時刻に合わせます。

#### 針の交換方法

- 1. 本体裏面のRESETボタンを、先の細い工具などを使い約3秒間長押ししてください。
- 2. 秒針が動き出し、12時の位置で止まります。次に時分針が動き出し、12時の位置で止まります。
- 3. 電池を抜き、ピンをピン挿入口に挿入してください。
- 4. 取り付けてあるすべての針を外して、新しい時針・分針・秒針の順番に、12時の位置に正確 に合わせ、それぞれが干渉しないよう垂直に取り付けてください。
- 5. 放電させるため、何も操作をせずに5分以上放置してください。

以降の操作は、使用開始方法をご参照ください。



以下の場合も、針を交換する場合と同様の手順を行ってください。

- ・針の取り付け位置を間違えて元のピンを抜いてしまった場合
- ・針を取り付ける前に、裏のピンを抜いて電池を挿入してしまった場合
- ・作動中に針が外れてしまった場合

## 電池の交換方法

- 1. 電池を外してください。
- 2. 放電させるため、何も操作をせずに5分以上放置してください。
- 3. 新しい単3電池の⊕⊖を確認し、正確に挿入してください。

以降の操作は、使用開始方法をご参照ください。

#### 電池のお取り替えについて

時計が動いていても1年に一度新しい電池と交換してください。電池は1年以上ご使用になりますと、電圧が下がり時間が合わなくなったり止まったりします。また古くなった電池を入れたままにしておきますと、液漏れ等による故障の原因になりますので、早めにお取り替えください。交換する場合は、信用あるメーカーの電池を使用してください。長時間使用しない場合は、電池を外しておいてください。



- 電池はアルカリ電池を使用してください。
- 液漏れの原因になりますので、古い電池は使用しないでください。
- 充電式電池は低電圧による作動不良を起こすので、使用しないでください。
- ・ニッケル系一次電池など高性能電池は初期電圧が高く作動不良を起こすので、 使用しないでください。

#### ▼発売元・お問合せ先

株式会社インテック サービスセンター(平日 10:00 ~ 17:00) 〒 110-0005 東京都台東区上野 3-2-4 ザボン村上ビル 4F

TEL: 03-5817-0751

E-Mail: customer-contact@intec1998.co.ip

WEB: https://intec1998.co.jp